

活動レポート

技術者のミライ研究委員会

文責：技術者のミライ研究委員会幹事長 木本光則

昨年に続き、今年もお邪魔してきました 「技術士を知ろう！ in 函館高専」

1. はじめに

「技術者のミライ研究委員会」(ミライ研)にて運営等を担当している「技術士を知ろう！」第3弾として、昨年に引き続き、函館工業高等専門学校社会基盤工学科の3年生を対象に実施しました。今回も青年技術士交流委員会(青技交)の連携・協力を得て実施しています。

2. 実施概要

開催日時：H 29.8.4(金) 14:00～15:30

講義内容：技術士資格の説明、制度概要等
技術士・技術士補の仕事内容と役割
(講演2編)

高専卒業後の仕事、働き方等

対象者：函館工業高等専門学校 社会基盤工学科
3年生 36名

参加幹事：小澤、三吉、宮下、千葉、永井、寺西、
木本(記) (ミライ研7名)
須田、仁義、藤井、岡本(青技交4名)

3. 技術士資格の説明、制度概要等

小澤代表より、技術士資格の説明として技術士の役割、資格取得方法、持つことのメリット等を説明したほか、社会人になってからの仕事をする上での資格取得の重要性等の説明を行いました。

自身の資格取得歴や会社での処遇等も交えた説明で、今後の進路等を考えるうえで非常に参考になったようです。また、昨年度に函館高専5年生2人が第1次試験に合格している事例を紹介すると、ずいぶん身近な“自分ごと・自分たちごと”として認識してくれたようでした。



写真-1 冒頭の概説を行う小澤代表と熱心に耳を傾けてくれる学生さんたち

4. 技術士・技術士補の仕事内容と役割

(1) 技術士補の仕事(仁義技術士補)

具体的な仕事内容の紹介は、まず清水建設(株)に所属する仁義技術士補から、自身の担当してきた現場での仕事と土木系の技術者を目指したきっかけ等を紹介しました。ゼネコンならではのスケールの大きい仕事で、専門的な話になりがちなところ、わかりやすい図解等をしながらの説明。女性技術者としての働き方の紹介も交え、“働き方改革”につながるような話題で、土木業界の魅力が学生たちにも伝わったのでは、と思っています。

(2) 技術士の仕事(宮下技術士)

続いて函館高専OBの宮下技術士から、土木系コンサル、橋梁診断に関する仕事の講演を行いました。宮下技術士からの講演は一昨年、昨年に続き3回目となりますが、ここ数年の学生さんからの質問事項を説明資料に反映し、自身の転職歴も交え、“作る時代”から“メンテナンスする時代”へ移行してきた

現状を紹介。橋梁診断する技術者を「医者」に例え、学生にもわかるように丁寧な説明を行いました。講演の最後は函館高専の校訓を示して社会人になってからの働き方等を示し、OB ならではの視点で学生たちの視線を集めました。

(3) 高専卒業後の仕事、働き方等

講演最後は千葉技術士より高専卒業後の仕事や働き方等を紹介。苫小牧高専を卒業してすぐに就職、技術士を取って現在の仕事についているという自身の経歴を踏まえ、高専卒の強みや働いてからの頑張りが重要であること等を説明しました。5 年間在籍する高専で 3 年生はちょうど中間時期、まだ漠然としてしか自分の「専門」を意識できていない時期ですが、これからの進路、自分たちの“ミライ”を考えるうえで参考にしていただけたようです。

5. 質疑応答

他校での実施と同様、質疑応答は各プレゼン終了後に学生の皆さんから各プレゼンターに対しての質問を記入していただき、そのうち何問かを抽出して回答する形で実施しています。

函館高専 OB である三吉技術士が進行したせいか、講演内容をずいぶん真剣に聞いてもらえたようでした。紹介事例の内容にかなり踏み込んだ質問も出たほか、「ストレス発散方法」や就職後に「学生時代にやっておけばよかったと思うことは？」等の質問も寄せられ、和気あいあいとした雰囲気で行うことができました。

6. まとめ

学生からの感想には「今回の講演を聴いて興味を持つ事ができた」等の技術士取得の動機となるようなキーワードが多くありました。アンケートでは、有効回答数 33 人全員が「技術士を今回初めて知った」「名前だけは知っていた」等だったのに対し、33 人中 30 人が「将来技術士を取得したい」と回答してくれていました。

また「ためになる話ばかりだったので、今後も続けてほしい」、「未来を支える 1 人になれるよう、頑

張ります」といった感想もいただきました。同アンケートでの今回講演の「わかりやすさ」「満足度」は 5 段階評価で 4.6、4.7 と学生に高評価だったのも一因だったのでは、と考えています。



写真-2 女性技術者の視点で、とても聞きやすい講演だった仁義技術士補(青技交 幹事)



写真-3 OB として熱く語る宮下技術士(幹事)
近い世代の OB の声は学生さんによく届きます



写真-4 高専卒の「強み」等を先輩として強く語る千葉技術士(幹事)